

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2006年8月25日設定）
運用方針	マザーファンド受益証券への投資を通じて、外国の債券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ベビーフンド グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	マザーファンド 外国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、安定した分配を継続することをめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。

運用報告書（全体版）

グローバル・ボンド・
ニューマーケット
（毎月決算型）

愛称：星こよみ



- 第208期（決算日：2024年2月26日）
- 第209期（決算日：2024年3月25日）
- 第210期（決算日：2024年4月24日）
- 第211期（決算日：2024年5月24日）
- 第212期（決算日：2024年6月24日）
- 第213期（決算日：2024年7月24日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、お手持ちの「グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）」は、去る7月24日に第213期の決算を行いましたので、法令に基づいて第208期～第213期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル

0120-151034
(受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率			
	円			円	%	%	百万円
184期(2022年2月24日)	3,586			10	△1.9	97.4	3,413
185期(2022年3月24日)	3,299			10	△7.7	96.7	3,108
186期(2022年4月25日)	3,375			10	2.6	97.4	3,124
187期(2022年5月24日)	3,343			10	△0.7	97.0	3,074
188期(2022年6月24日)	3,477			5	4.2	96.6	3,171
189期(2022年7月25日)	3,505			5	0.9	96.9	3,188
190期(2022年8月24日)	3,516			5	0.5	97.4	3,178
191期(2022年9月26日)	3,576			5	1.8	97.2	3,196
192期(2022年10月24日)	3,562			5	△0.3	97.5	3,168
193期(2022年11月24日)	3,616			5	1.7	97.5	3,192
194期(2022年12月26日)	3,558			5	△1.5	96.6	3,112
195期(2023年1月24日)	3,652			5	2.8	97.0	3,179
196期(2023年2月24日)	3,651			5	0.1	96.7	3,158
197期(2023年3月24日)	3,629			5	△0.5	97.2	3,121
198期(2023年4月24日)	3,808			5	5.1	96.4	3,235
199期(2023年5月24日)	3,918			5	3.0	96.4	3,304
200期(2023年6月26日)	4,144			5	5.9	97.9	3,435
201期(2023年7月24日)	4,179			5	1.0	98.3	3,411
202期(2023年8月24日)	4,202			5	0.7	97.2	3,395
203期(2023年9月25日)	4,182			5	△0.4	98.0	3,344
204期(2023年10月24日)	4,136			5	△1.0	97.5	3,262
205期(2023年11月24日)	4,351			5	5.3	96.7	3,395
206期(2023年12月25日)	4,263			5	△1.9	96.8	3,288
207期(2024年1月24日)	4,343			5	2.0	96.4	3,307
208期(2024年2月26日)	4,440			5	2.3	97.2	3,349
209期(2024年3月25日)	4,505			5	1.6	97.3	3,354
210期(2024年4月24日)	4,517			5	0.4	97.1	3,321
211期(2024年5月24日)	4,675			5	3.6	97.0	3,413
212期(2024年6月24日)	4,624			5	△1.0	97.8	3,351
213期(2024年7月24日)	4,576			5	△0.9	97.9	3,267

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率		
第208期	(期 首) 2024年 1 月 24日	円 4,343	% —	% 96.4	% —
	1 月末	4,351	0.2	96.6	—
	(期 末) 2024年 2 月 26日	4,445	2.3	97.2	—
第209期	(期 首) 2024年 2 月 26日	4,440	—	97.2	—
	2 月末	4,446	0.1	96.8	—
	(期 末) 2024年 3 月 25日	4,510	1.6	97.3	—
第210期	(期 首) 2024年 3 月 25日	4,505	—	97.3	—
	3 月末	4,520	0.3	97.1	—
	(期 末) 2024年 4 月 24日	4,522	0.4	97.1	—
第211期	(期 首) 2024年 4 月 24日	4,517	—	97.1	—
	4 月末	4,566	1.1	97.2	—
	(期 末) 2024年 5 月 24日	4,680	3.6	97.0	—
第212期	(期 首) 2024年 5 月 24日	4,675	—	97.0	—
	5 月末	4,637	△0.8	97.3	—
	(期 末) 2024年 6 月 24日	4,629	△1.0	97.8	—
第213期	(期 首) 2024年 6 月 24日	4,624	—	97.8	—
	6 月末	4,639	0.3	97.9	—
	(期 末) 2024年 7 月 24日	4,581	△0.9	97.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

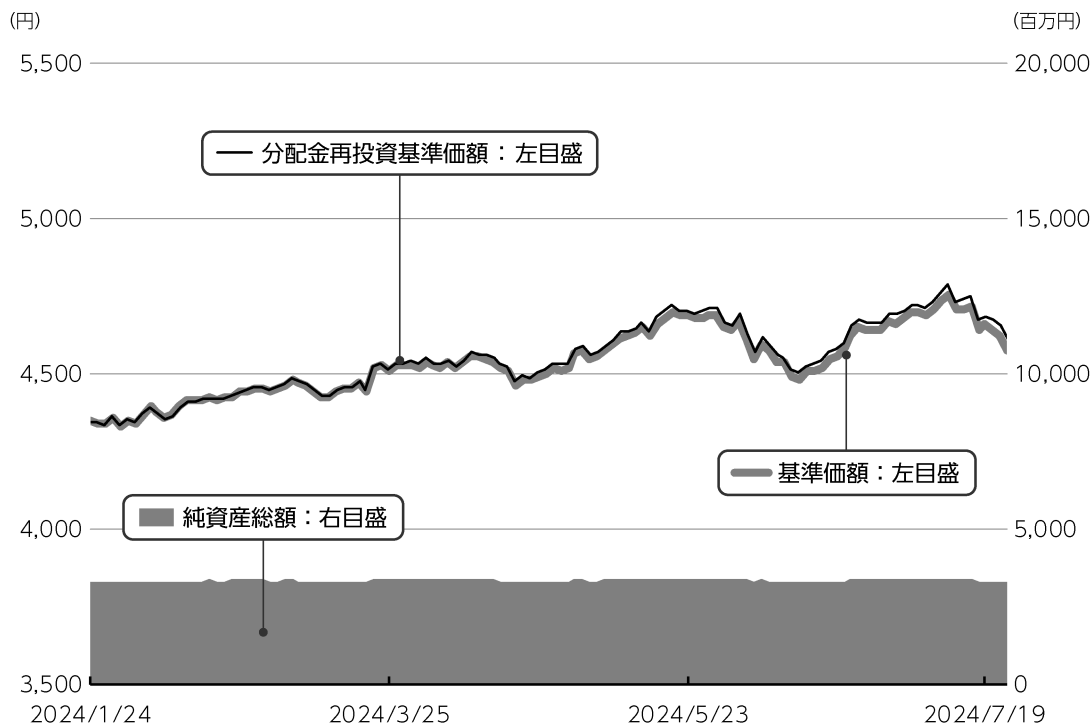
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第208期～第213期：2024年1月25日～2024年7月24日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第208期首	4,343円
第213期末	4,576円
既払分配金	30円
騰落率	6.1%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ6.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益を享受したことや、ポーランドズロチやマレーシアリングットが対円で上昇したことなどが、上昇要因となりました。

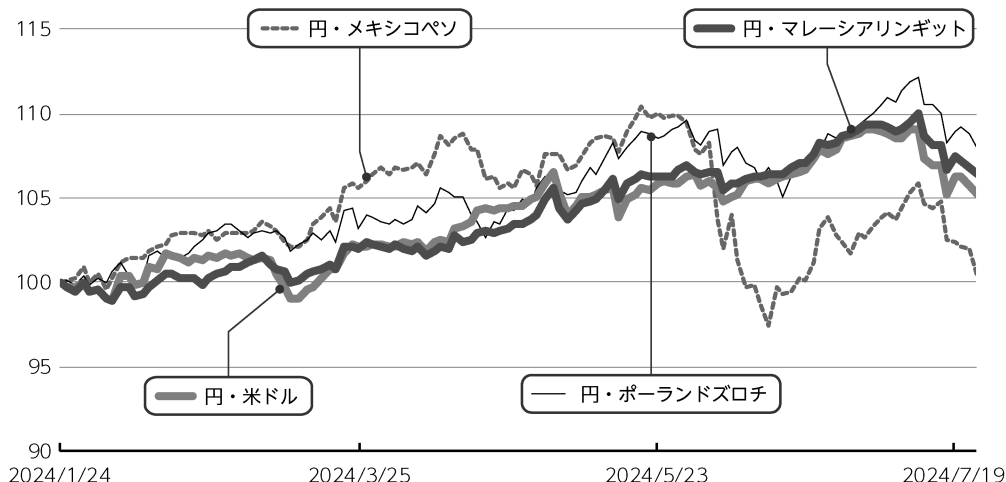
下落要因

メキシコの金利が上昇したことなどが、下落要因となりました。

第208期～第213期：2024年1月25日～2024年7月24日

投資環境について

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



債券市況

長期金利はマレーシアを除くすべての投資国で上昇しました。

米連邦準備制度理事会（F R B）高官が早期の利下げをけん制したことなどを背景に、投資国の長期金利は2024年4月にかけて上昇しました。その後は、米国の消費者物価指数（C P I）など物価関連指標の鈍化を背景にF R Bによる利下げが意識されたことなどが投資国の長期金利の低下要因となり、期間を通じてみると長期金利はマレーシアで概ね横ばい、その他の投資国で上昇しました。

為替市況

メキシコペソを除くすべての投資国通貨は対円で上昇しました。

主要先進国や投資国の政策金利が相対的に高い水準である中、本邦との金融政策格差が意識され、メキシコペソを除くすべての投資国通貨は対円で上昇しました。なお、メキシコペソは左派政権と最高裁の対立が続く中、司法改革を含む憲法改正に対する懸念が高まったことなどが対円での下落要因となり、期間を通じてみると対円で概ね横ばいとなりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じて、アッパーミドル諸国の公社債を中心に投資をしました。

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。

投資国は、期間を通じて、米国・メキシコ・ポーランド・マレーシアの4カ国となりました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第208期 2024年1月25日～ 2024年2月26日	第209期 2024年2月27日～ 2024年3月25日	第210期 2024年3月26日～ 2024年4月24日	第211期 2024年4月25日～ 2024年5月24日	第212期 2024年5月25日～ 2024年6月24日	第213期 2024年6月25日～ 2024年7月24日
当期分配金 （対基準価額比率）	5 (0.112%)	5 (0.111%)	5 (0.111%)	5 (0.107%)	5 (0.108%)	5 (0.109%)
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	372	383	393	407	418	428

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。

アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA－～A＋格相当の国を中心に、債券

市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。

アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

なお、当ファンドは、更なるパフォーマンス向上のため、独自のリスクマネジメント指標を使ったモニタリングを導入する等、運用プロセス強化を実施しています。

2024年1月25日～2024年7月24日

> 1万口当たりの費用明細

項目	第208期～第213期		項目の概要
	金額（円）	比率（％）	
(a)信託報酬	27	0.602	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(14)	(0.301)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(12)	(0.274)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	2	0.038	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.036)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	29	0.640	

作成期中の平均基準価額は、4,538円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

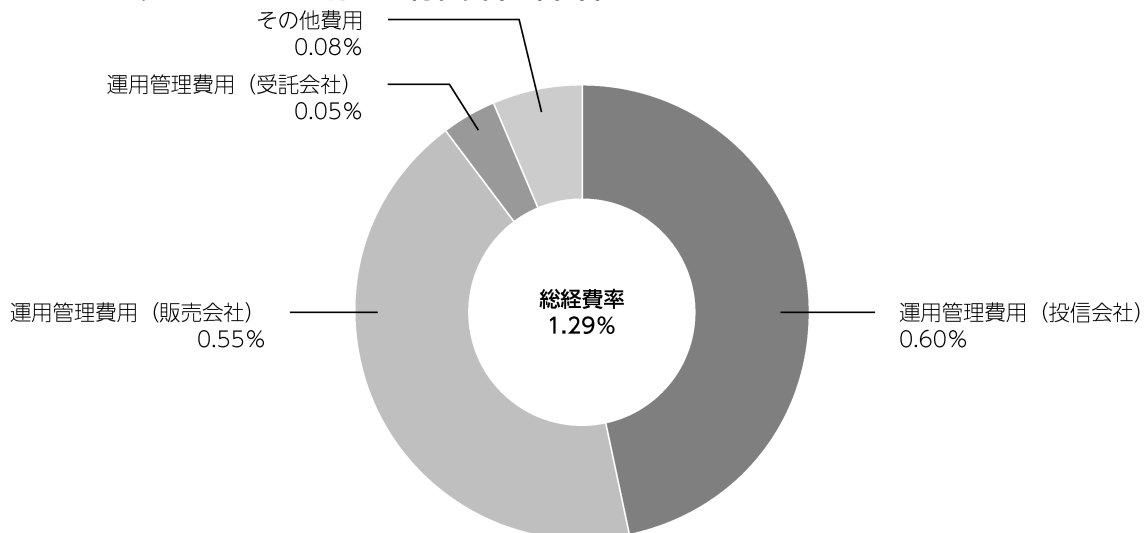
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.29%**です。



（注）費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年1月25日～2024年7月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第208期～第213期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	814	1,374	156,116	258,818

○利害関係人との取引状況等

(2024年1月25日～2024年7月24日)

利害関係人との取引状況

<グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

区分	第208期～第213期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況 B	B A		うち利害関係人 との取引状況 D	D C	
為替直物取引	百万円 14	百万円 —	% —	百万円 231	百万円 114	% 49.4

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2024年7月24日現在)

親投資信託残高

銘柄	第207期末	第213期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	2,091,374	1,936,072	3,259,185

○投資信託財産の構成

（2024年7月24日現在）

項 目	第213期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	3,259,185	99.5
コール・ローン等、その他	17,531	0.5
投資信託財産総額	3,276,716	100.0

（注）グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（3,254,929千円）の投資信託財産総額（3,265,662千円）に対する比率は99.7%です。

（注）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=155.87円	1 メキシコペソ=8.5865円	1 ポーランドズロチ=39.5246円	1 マレーシアリングgit=33.3363円
------------------	------------------	---------------------	------------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第208期末	第209期末	第210期末	第211期末	第212期末	第213期末
	2024年2月26日現在	2024年3月25日現在	2024年4月24日現在	2024年5月24日現在	2024年6月24日現在	2024年7月24日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,362,131,135	3,362,525,090	3,334,593,084	3,421,105,259	3,358,132,025	3,276,716,441
コール・ローン等	11,207,850	10,648,286	10,937,783	11,461,372	10,972,146	10,991,171
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド(附録)	3,341,239,675	3,346,646,803	3,313,428,945	3,405,538,852	3,343,239,766	3,259,185,284
未収入金	9,683,610	5,229,981	10,226,337	4,105,015	3,920,094	6,539,967
未収利息	—	20	19	20	19	19
(B) 負債	13,119,717	7,930,009	13,140,378	7,234,601	7,090,214	9,471,574
未払収益分配金	3,771,601	3,723,090	3,676,248	3,651,570	3,623,215	3,569,951
未払解約金	5,706,979	1,109,614	6,124,302	224,621	22,929	2,538,440
未払信託報酬	3,627,298	3,085,536	3,327,138	3,345,644	3,430,980	3,350,404
未払利息	1	—	—	—	—	—
その他未払費用	13,838	11,769	12,690	12,766	13,090	12,779
(C) 純資産総額(A－B)	3,349,011,418	3,354,595,081	3,321,452,706	3,413,870,658	3,351,041,811	3,267,244,867
元本	7,543,203,915	7,446,180,595	7,352,497,447	7,303,140,263	7,246,430,226	7,139,902,777
次期繰越損益金	△4,194,192,497	△4,091,585,514	△4,031,044,741	△3,889,269,605	△3,895,388,415	△3,872,657,910
(D) 受益権総口数	7,543,203,915口	7,446,180,595口	7,352,497,447口	7,303,140,263口	7,246,430,226口	7,139,902,777口
1万口当たり基準価額(C／D)	4.440円	4.505円	4.517円	4.675円	4.624円	4.576円

○損益の状況

項 目	第208期	第209期	第210期	第211期	第212期	第213期
	2024年1月25日～ 2024年2月26日	2024年2月27日～ 2024年3月25日	2024年3月26日～ 2024年4月24日	2024年4月25日～ 2024年5月24日	2024年5月25日～ 2024年6月24日	2024年6月25日～ 2024年7月24日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 25	66	515	499	528	508
受取利息	3	92	515	499	528	508
支払利息	△ 28	△ 26	—	—	—	—
(B) 有価証券売買損益	80,336,058	55,479,544	16,077,688	121,722,650	△ 29,252,467	△ 27,601,872
売買益	80,630,200	55,628,071	16,292,949	122,199,047	665,850	869,698
売買損	△ 294,142	△ 148,527	△ 215,261	△ 476,397	△ 29,918,317	△ 28,471,570
(C) 信託報酬等	△ 3,641,136	△ 3,097,305	△ 3,339,828	△ 3,358,410	△ 3,444,070	△ 3,363,183
(D) 当期損益金(A+B+C)	76,694,897	52,382,305	12,738,375	118,364,739	△ 32,696,009	△ 30,964,547
(E) 前期繰越損益金	△2,902,968,562	△2,793,009,840	△2,709,207,595	△2,681,402,122	△2,546,210,858	△2,543,985,389
(F) 追加信託差損益金	△1,364,147,231	△1,347,234,889	△1,330,899,273	△1,322,580,652	△1,312,858,333	△1,294,138,023
(配当等相当額)	(94,058,881)	(92,891,731)	(91,766,628)	(91,196,334)	(90,533,002)	(89,250,620)
(売買損益相当額)	(△1,458,206,112)	(△1,440,126,620)	(△1,422,665,901)	(△1,413,776,986)	(△1,403,391,335)	(△1,383,388,643)
(G) 計(D+E+F)	△4,190,420,896	△4,087,862,424	△4,027,368,493	△3,885,618,035	△3,891,765,200	△3,869,087,959
(H) 収益分配金	△ 3,771,601	△ 3,723,090	△ 3,676,248	△ 3,651,570	△ 3,623,215	△ 3,569,951
次期繰越損益金(G+H)	△4,194,192,497	△4,091,585,514	△4,031,044,741	△3,889,269,605	△3,895,388,415	△3,872,657,910
追加信託差損益金	△1,364,147,231	△1,347,234,889	△1,330,899,273	△1,322,580,652	△1,312,858,333	△1,294,138,023
(配当等相当額)	(94,059,724)	(92,892,137)	(91,767,172)	(91,197,110)	(90,533,756)	(89,251,197)
(売買損益相当額)	(△1,458,206,955)	(△1,440,127,026)	(△1,422,666,445)	(△1,413,777,762)	(△1,403,392,089)	(△1,383,389,220)
分配準備積立金	186,731,611	192,961,554	197,842,584	206,644,213	212,724,064	216,657,644
繰越損益金	△3,016,776,877	△2,937,312,179	△2,897,988,052	△2,773,333,166	△2,795,254,146	△2,795,177,531

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 7,614,516,312円
 作成期中追加設定元本額 10,089,303円
 作成期中一部解約元本額 484,702,838円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4576円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,872,657,910円です。

③分配金の計算過程

項 目	2024年1月25日～ 2024年2月26日	2024年2月27日～ 2024年3月25日	2024年3月26日～ 2024年4月24日	2024年4月25日～ 2024年5月24日	2024年5月25日～ 2024年6月24日	2024年6月25日～ 2024年7月24日
費用控除後の配当等収益額	14,420,543円	12,396,694円	11,028,267円	13,826,545円	11,351,757円	10,678,472円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	94,059,724円	92,892,137円	91,767,172円	91,197,110円	90,533,756円	89,251,197円
分配準備積立金額	176,082,669円	184,287,950円	190,490,565円	196,469,238円	204,995,522円	209,549,123円
当ファンドの分配対象収益額	284,562,936円	289,576,781円	293,286,004円	301,492,893円	306,881,035円	309,478,792円
1万口当たり収益分配対象額	377円	388円	398円	412円	423円	433円
1万口当たり分配金額	5円	5円	5円	5円	5円	5円
収益分配金金額	3,771,601円	3,723,090円	3,676,248円	3,651,570円	3,623,215円	3,569,951円

○分配金のお知らせ

	第208期	第209期	第210期	第211期	第212期	第213期
1 万口当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

*三菱ＵＦＪアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

《第18期》決算日2024年7月24日

[計算期間：2023年7月25日～2024年7月24日]

「グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド」は、7月24日に第18期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用格付がAー～A＋格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	外国の債券を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
14期(2020年7月27日)	11,930	△	6.6	98.1	—	4,443
15期(2021年7月26日)	12,748		6.9	97.4	—	3,895
16期(2022年7月25日)	12,208	△	4.2	97.1	—	3,181
17期(2023年7月24日)	14,978		22.7	98.5	—	3,403
18期(2024年7月24日)	16,834		12.4	98.1	—	3,259

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首)			円	%			%
		2023年 7月24日	14,978	—	98.5	—	—
	7 月末		14,970	△ 0.1	96.7	—	—
	8 月末		15,309	2.2	97.5	—	—
	9 月末		14,916	△ 0.4	98.4	—	—
	10月末		14,952	△ 0.2	97.7	—	—
	11月末		15,618	4.3	97.0	—	—
	12月末		15,488	3.4	97.2	—	—
	2024年 1 月末		15,808	5.5	96.8	—	—
	2 月末		16,185	8.1	97.0	—	—
	3 月末		16,492	10.1	97.3	—	—
	4 月末		16,694	11.5	97.4	—	—
	5 月末		16,993	13.5	97.5	—	—
	6 月末		17,034	13.7	98.1	—	—
(期 末)		2024年 7月24日	16,834	12.4	98.1	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ12.4%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券の利子収益を享受したことや、すべての投資国通貨が対円で上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

メキシコの金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・長期金利はマレーシアを除くすべての投資国で上昇しました。
- ・米国での国債増発による需給悪化懸念や小売売上高などの良好な内容の経済指標などから、2023年10月下旬にかけて投資国の長期金利は上昇しました。その後は、米国の消費者物価指数

(CPI)など物価関連指標の鈍化を背景に米連邦準備制度理事会(FRB)による利下げが意識されたことなどが投資国の長期金利の低下要因となり、期間を通じてみると長期金利はマレーシアで小幅低下、その他の投資国で上昇しました。

◎為替市況

- ・すべての投資国通貨は対円で上昇しました。
- ・主要先進国や投資国の政策金利が相対的に高い水準である中、本邦との金融政策格差が意識され、すべての投資国通貨は対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。
- ・投資国は、期間を通じて、米国・メキシコ・ポーランド・マレーシアの4ヵ国となりました。

○今後の運用方針

- ・アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。
- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。
- ・アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。
- ・なお、当ファンドは、更なるパフォーマンス向上のため、独自のリスクマネジメント指標を使ったモニタリングを導入する等、運用プロセス強化を実施しています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 7 月25日～2024年 7 月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) そ の 他 費 用	11	0.070	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(11)	(0.070)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	11	0.070	
期中の平均基準価額は、15,922円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年 7 月25日～2024年 7 月24日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 176	千アメリカドル 289
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 21,861	千メキシコペソ 31,711
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 6,120	千ポーランドズロチ 11,825
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリンギット 3,040	千マレーシアリンギット 5,351

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2023年7月25日～2024年7月24日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 22	百万円 —	% —	百万円 549	百万円 180	% 32.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2024年7月24日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 2,150	千アメリカドル 2,053	千円 320,034	% 9.8	% —	% 5.2	% 2.3	% 2.4
メキシコ	千メキシコペソ 123,000	千メキシコペソ 108,480	931,467	28.6	—	18.9	4.7	5.0
ポーランド	千ポーランドズロチ 26,800	千ポーランドズロチ 24,782	979,526	30.1	—	11.2	12.7	6.2
マレーシア	千マレーシアリンギット 28,100	千マレーシアリンギット 28,976	965,973	29.6	—	20.9	8.7	—
合 計	—	—	3,197,002	98.1	—	56.2	28.3	13.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	国債証券	1.75 T-NOTE 240731	1.75	500	499	77,879	2024/7/31
		2.25 T-NOTE 270815	2.25	500	471	73,447	2027/8/15
		3 T-BOND 420515	3.0	400	324	50,543	2042/5/15
		3.375 T-NOTE 330515	3.375	100	93	14,602	2033/5/15
		4 T-NOTE 340215	4.0	100	98	15,283	2034/2/15
		4.5 T-BOND 360215	4.5	550	566	88,276	2036/2/15
小 計						320,034	
メキシコ				千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券	5.5 MEXICAN BONOS 270304	5.5	20,000	17,866	153,407	2027/3/4
		7.5 MEXICAN BONOS 330526	7.5	10,000	8,579	73,667	2033/5/26
		7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	28,000	25,035	214,970	2031/5/29
		7.75 MEXICAN BONO 341123	7.75	15,000	12,942	111,129	2034/11/23
		8 MEXICAN BONOS 240905	8.0	19,000	18,905	162,333	2024/9/5
		8 MEXICAN BONOS 471107	8.0	31,000	25,151	215,960	2047/11/7
小 計						931,467	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	0 POLAND 240725	—	5,100	5,100	201,575	2024/7/25
		1.75 POLAND 320425	1.75	8,000	6,141	242,736	2032/4/25
		3.75 POLAND 270525	3.75	7,700	7,405	292,705	2027/5/25
		5.75 POLAND 290425	5.75	3,000	3,041	120,224	2029/4/25
		6 POLAND 331025	6.0	3,000	3,093	122,285	2033/10/25
		小 計					
マレーシア				千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券	2.632 MALAYSIAGOV 310415	2.632	2,500	2,334	77,808	2031/4/15
		3.582 MALAYSIAGOV 320715	3.582	2,600	2,558	85,295	2032/7/15
		3.899 MALAYSIAGOV 271116	3.899	8,400	8,510	283,693	2027/11/16
		4.457 MALAYSIAGOV 530331	4.457	2,000	2,090	69,682	2053/3/31
		4.498 MALAYSIAGOV 300415	4.498	5,000	5,201	173,391	2030/4/15
		4.642 MALAYSIAGOV 331107	4.642	1,900	2,021	67,400	2033/11/7
		4.893 MALAYSIAGOV 380608	4.893	5,700	6,260	208,702	2038/6/8
		小 計					
合 計						3,197,002	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2024年7月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	3,197,002	97.9
コール・ローン等、その他	68,660	2.1
投資信託財産総額	3,265,662	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (3,254,929千円) の投資信託財産総額 (3,265,662千円) に対する比率は99.7%です。
(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=155.87円	1 メキシコペソ=8.5865円	1 ポーランドズロチ=39.5246円	1 マレーシアリンギット=33.3363円
------------------	------------------	---------------------	-----------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年7月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,265,662,844
コール・ローン等	20,848,934
公社債(評価額)	3,197,002,961
未収入金	10,132,903
未収利息	33,949,752
前払費用	3,728,294
(B) 負債	6,539,967
未払解約金	6,539,967
(C) 純資産総額(A-B)	3,259,122,877
元本	1,936,072,998
次期繰越損益金	1,323,049,879
(D) 受益権総口数	1,936,072,998口
1万口当たり基準価額(C/D)	16.834円

<注記事項>

①期首元本額 2,272,608,639円
期中追加設定元本額 7,042,132円
期中一部解約元本額 343,577,773円
また、1口当たり純資産額は、期末1.6834円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
グローバル・ボンド・ニューマーケット(毎月決算型) 1,936,072,998円

○損益の状況 (2023年7月25日～2024年7月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	175,420,318
受取利息	175,427,794
支払利息	△ 7,476
(B) 有価証券売買損益	216,318,082
売買益	270,743,194
売買損	△ 54,425,112
(C) 保管費用等	△ 2,330,098
(D) 当期損益金(A+B+C)	389,408,302
(E) 前期繰越損益金	1,131,242,689
(F) 追加信託差損益金	3,812,485
(G) 解約差損益金	△ 201,413,597
(H) 計(D+E+F+G)	1,323,049,879
次期繰越損益金(H)	1,323,049,879

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お 知 ら せ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
(2023年10月1日)